

3. 自然条件からみた施設・露地野菜栽培の判定基準

四国農業試験場 土地利用部

背景・目的

四国の傾斜地において野菜栽培形態別分布図と気温図、降水量図、土地（傾斜）分類図との関係を明確にすることによって施設・露地野菜栽培の判定基準を策定する。

内容及び特徴

- (1) 四国の地形要素（高度示度、起伏量、谷方向、露出度、最大傾斜方向）と25年間の実測降水量との関係図を求めた。
- (2) 地勢図より求めた任意地点の地形要素から推定雨量を読みとり月別・年降水量図（図1）を作成した。
- (3) 露地栽培501a以上、施設栽培301a以上の集落分布図と気温図より露地栽培は年平均気温15.5～16°Cが、施設栽培は16～16.5°Cが多く、分布状況に顕著な差が認められた。
- (4) 野菜の栽培形態を気温からみて3地区に区分した（図2）。
 - ① 加温施設重点地帯：年平均気温16.0°C以上の高温地帯
特に3月の平均気温9.5°C以上が有利である。
 - ② 無加温施設・露地重点地帯：年平均気温14.0～16.0°Cの気温地帯
 - ③ 夏秋どりに力点を置いた露地栽培地帯：年平均気温14.0°C以下の低温地帯
瀬戸内側は少雨地帯に接し、灌水施設が不可欠であり、高知・愛媛県の8月降水量400mm以上の地帯（図1）は雨除が必要である。
- (5) 露地野菜の導入定着には傾斜度3～20度の地域が対象となる。

活用面と留意点

- (1) 傾斜地の野菜栽培形態について、気象・土壤・地形条件と経済的有利性から施設・露地栽培の判断基準が得られる。
- (2) 四国地域の施設・露地野菜栽培の適地判定技術指針作成に活用可能である。

（玉置 磐彦）

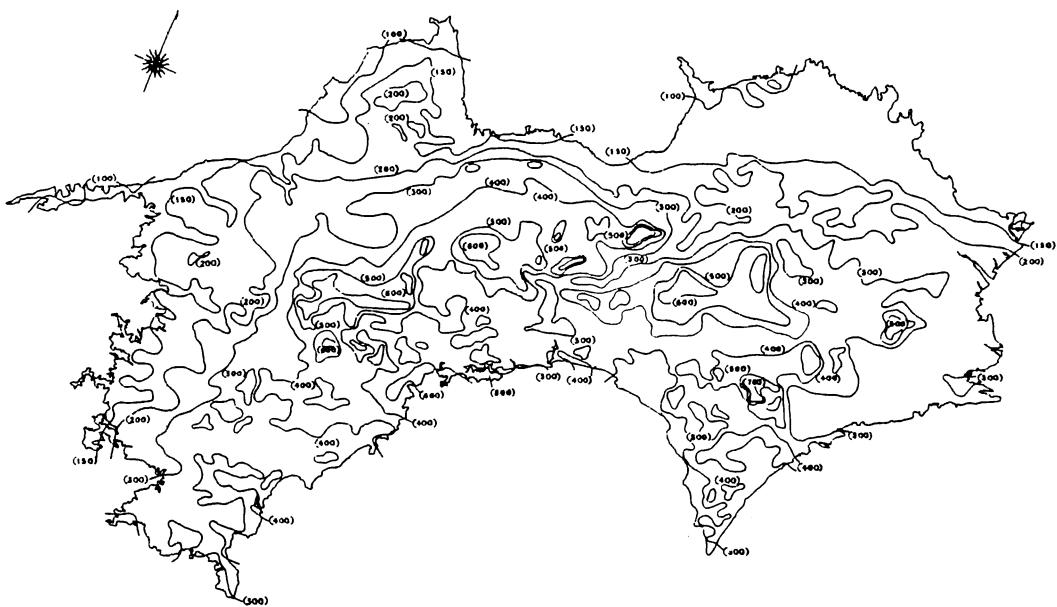


図1 四国地域の累年平均月降水量（mm）8月



凡例

	加温施設 重点地帯	年平均気温 16°C以上	3月の平均気温 9.5°C以上
			3月の平均気温 9.5°C未満
a	無加温施設・ 露地重点地帯	年平均気温14°C以上 16°C未満	
b	夏秋どりに力 点をおいた露 地栽培地帯	年平均気温 14°C未満	■は傾斜度 3度以上20度 未満

図2 野菜の栽培形態別地帯区分